

## 平成 28 年度滋賀県危機管理センター研修・交流プログラム（案）の概要

本県における危機管理機能の拠点となる危機管理センターにおいて、県と市町、さらには防災関係機関等や県民自身がそれぞれの役割分担のもと、自助・共助による危機対応力が県内各地に広がるよう、地域コミュニティ機能の向上と生活防災の浸透につながる効果的な研修・交流事業を行うことを目指す。

### 研修 機能

#### （1）危機対応力を高める

- 県全体で効果的な連携を実現するための研修の実施
- 県主催はもとより、関係団体が実施する危機事案研修の実施場所として活用
- 研修の機会を通じて、危機事案に関する情報を交換
- H28 年度に危機管理センターで実施する予定の研修等を一元的に列挙

#### （2）生活防災の視点による取組を県内に広げる

- 先人の知恵を生かした「生活防災」の取組事例や地域の特性に応じた対策を議論する取組につながる研修の実施を検討
- 手作りかまどベンチの製作に見られるような「生きる力を伸ばす研修」や「防災情報リテラシー研修」の実施の検討

### 交流 機能

#### （1）プラットフォームづくりに向けたスペースの提供

- 研修や「防災カフェ」等の機会を通じた出会い、打合せ、交流
- 危機対応に関する情報等を集積することで、多様な主体が集うプラットフォームとなることを目指したスペースの提供

#### （2）地域防災アドバイザー

- 地域で先進的、効果的に防災活動に取り組んでいる者を地域防災アドバイザーとして認定
- 地域防災アドバイザーの活動を通じて交流機能を側面的に支援

#### （3）生活防災サポーター（仮称）

- 「生活防災」の考え方に共感し、危機管理センターと共に活動を進めていこうとする方々を生活防災サポーター（仮称）とし、その自主的な取組を危機管理センターを活用することで支援
- 今後の導入に向けて研究

## 展示 機能

### (1) 常設展示

- 大型モニターを設置し、県HPに接する機会を提供し、各種コンテンツを紹介

### (2) 生活防災に役立つ情報等の展示

- 手作りかまどベンチが効果的であることの紹介
- 避難所でのスペースが疑似体験でき、研修にも利用可能な展示
- 時節に応じた情報を交えたパネル展示

### (3) みんなで作る展示コーナー

- 自主防災組織等の各団体が作成したポスター等を展示し、自らの活動を他団体に発信する参加型展示コーナーを設置

## 推進 体制

### (1) 推進体制のあり方

- 研修、交流、展示をコーディネートし、地域防災力の広がりを目指すためには、それぞれの主体が役割分担のもと使命を果たす必要
- ボランティアやNPO、障害者団体等の当事者団体を含む多様な主体の参画を得るなど、プログラムの実効性を高めていけるよう検討
- (仮称) 滋賀県危機管理センター研修交流事業推進協議会を設置  
定期的に事業内容を評価・検証

### (2) 県民の参画による協働

- 「生活防災サミット」といったイベントをイベントボランティア等主導で行うことは、生活防災サポーター等との連携のもとでの推進体制の一助
- 今後の導入に向けて研究